

令和元年度（2019年度）第1回  
伊丹市子ども・子育て審議会  
議 事 要 旨

令和元年（2019年）6月21日（金）

【開催日時】 令和元年（2019年）6月21日（金）午後1時30分～3時30分

【開催場所】 伊丹市立中央公民館 大集会室

【出席委員】 芝野委員、乾委員、川村委員、本庄委員、  
中村委員、濱名委員、佐藤委員、大澤委員、  
神田委員、田中委員、筒井委員、森田委員、大野委員

【署名委員】 森田委員、田中委員

【傍聴者】 1名

### 【議題】

(1) 計画素案について

第一章 計画策定の根拠、計画の位置づけ等

第二章 伊丹市の人口動態などの現状、ニーズ調査結果

(2) 第一期 「子ども・子育て支援計画」の評価について

(3) その他

- ・令和元年（2019年）10月1日からの幼児教育無償化について
- ・次回のスケジュールについて

### 【議事要旨】

- ・開会
- ・委嘱状交付（4名）
- ・会議の成立及び公開について  
委員20名中13名出席、会議は成立している。  
傍聴者は1名。

#### ・議題

1. 計画素案について

第一章 計画策定の根拠、計画の位置づけ等

第二章 伊丹市の人口動態などの現状、ニーズ調査結果

担当課長より、資料1に基づき、計画策定の根拠法令について説明

資料2に基づき、1年間のスケジュールについて説明

資料3に基づき、第一章（計画策定の根拠、計画の位置づけ等）及び  
第二章（伊丹市の人口動態等の現状、ニーズ調査結果）について説明

資料4に基づき、量の見込みの算出方法等について説明

（質疑）

神田委員：

フルタイム就労へ転換したくても、多額の保育料がかかるためにあきらめている人がいると聞いている。令和元年10月から3歳以上は保育料が無償化されるとのことだが、3歳未満児にも無償化が広がってほしい。

事務局：

事務局としても、フルタイムへの転換を希望している方、就職したいと考えている方の課題を解決することは非常に大切だと考えている。

保育料について、平成30年4月から伊丹市独自で4歳児、5歳児の幼児教育無償化を進めている。また、3歳未満児の保育料については、他市より高額だという意見があったため、令和元年4月より値下げを行った。

大澤委員：

伊丹市内の認可外保育施設はどのくらいあるのか。また、認可外保育施設における保育状況を、市はどの程度把握しているのか。

事務局：

県のホームページによると、伊丹市内の認可外保育施設で、県に児童福祉法上の届け出をしているところは15施設と記載されている。直近の情報では、17施設あると認識している。

保育状況について、県に届け出をしている施設については、県の一定の基準で認証が行われているところもあるため、一定の質は確保されているものと考えている。また、平成28年からは内閣府の指導の下、企業主導型保育施設が認証されている。

## 2. 第一期「子ども・子育て支援計画」の評価について

担当職員により、資料5に基づき、量の見込みの計画値・実績値の比較及び子育て支援施策・事業に対する評価について説明。

(質疑)

中村委員：

伊丹市が保育の需要を満たそうとしているのは分かるが、保育ニーズに応じて保育所を整備していくことによって、保育士不足が大きな問題になっている。保育士不足により保育の質が落ちる恐れがあるので、その点是对策が必要である。また、保育が本当に必要な方が預けられないという状況も起こっている。そういったことがないよう、対策を計画に盛り込んでほしい。

事務局：

第1期計画では保育の質の確保について書けていなかった。量の確保と同時に質の確保

も考えていきたい。

本庄委員：

子どもの医療費の助成は何歳までか。併せて、何十年も前から中学校給食の実施を要望していたが、平成 29 年度からようやく開始された理由を教えてください。また、給食費が払われない場合、先生が家まで徴収に行かなければならず、仕事が増えたという声がある。そういったことへの対策はあるか。

事務局：

医療費助成の対象者は 0 歳から 15 歳、中学 3 年生までである。0 歳児は所得に関わらず対象となるが、1 歳から 15 歳までは、保護者または扶養義務者の市町村民税所得割額の合計額が 23 万 5,000 円未満の方が対象となる。

中学校の学校給食は、長らく家族で弁当を作ることを大切にしてきたが、市民からのニーズが高くなってきたため開始した。給食費の徴収は市が担っており、先生が徴収に関わることはない。

乾委員：

ショートステイの利用者について教えてください。

事務局：

子育てに疲れ、子どもに手をあげてしまいそうになっている場合などに利用していただいている。

乾委員：

発達障害や自閉症のお子さんをお持ちで、息抜きをしたい親御さんが増えてきているため、ニーズの増加に考慮が必要。

また、保育所の需要は収入が大きく影響しているように思う。今は、共働きでないと生活できない人が増えているのではないか。伊丹市の貧困率について教えてください。今後、保育料が無償化されれば保育所の利用希望者が増えると思われるため、そういった対策も必要となるだろう。

事務局：

現在、伊丹市では子どもの貧困調査は実施していない。生活が苦しく働かざるを得ない方も増えているので、現場の話をよく聞き、子ども・子育て支援計画の中で考えていきたい。

芝野会長：

尼崎市や西宮市の貧困調査を参考にしながら調査をしていただきたい。

大澤委員：

児童くらは対象が 6 年生までになったり、19 時まで預けられるようになったりするな

ど、預ける側にとって便利になった。ただ、19時以降に帰宅するとなると、暗い中を帰らなければならない、交通事故などの心配があるのではないか。

また、こんにちは赤ちゃん事業は、民生委員などが訪ねていっても不在のために会うことができず、状況が分からないことがあり、大きな問題となっている。

事務局：

児童クラブについて、17時までの場合は子どもだけで帰宅するが、支援学級に通っておられる方の場合や19時まで延長された場合は保護者に迎えにきてもらうことになっている。

また、こんにちは赤ちゃん事業について、民生委員が会えなかった場合は4カ月健診に来られているかどうかをチェックし、健診に来られた場合は情報を共有するようにしている。4カ月健診にも来られなかった場合は、こども福祉課から何度もご連絡をしてお会いするようにしている。

### 3. その他について

令和元年（2019年）10月1日からの幼児教育無償化について

次回のスケジュールについて

担当課長により、資料6に基づき、今年度10月からの幼児教育無償化について説明。

担当職員により、次回のスケジュールについて説明。

（質問や意見等はなし）

（終了）